

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年12月11日 (2008.12.11)

【公表番号】特表2008-538679(P2008-538679A)
 【公表日】平成20年10月30日 (2008.10.30)
 【年通号数】公開・登録公報2008-043
 【出願番号】特願2008-507737(P2008-507737)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

H 0 4 Q 7/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 6 3 0

H 0 4 Q 7/00 2 6 1

H 0 4 Q 7/00 4 3 7

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月29日 (2008.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遅延管理をする方法であって、
無線送受信ユニット (W T R U) の遅延管理機能を報告する遅延管理機能要求メッセージを送信するステップと、
前記遅延管理機能要求メッセージに応答して、エネルギー検出しきい値 (E D T) を含む遅延管理機能インジケータメッセージを受信するステップと
を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

遅延管理パラメータを設定する値を示す遅延管理パラメータ設定メッセージを送信するステップと、
前記遅延管理パラメータ設定メッセージに応答して、遅延管理パラメータ設定実行確認メッセージを受信するステップと
をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記 W T R U の最大送信電力、前記 W T R U の最小送信電力および前記 W T R U のダイナミックレンジのうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記 W T R U に対する最小遅延しきい値 (D T) / エネルギー検出しきい値 (E D T) および前記 W T R U に対する最大遅延しきい値 (D T) / エネルギー検出しきい値 (E D T) のうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

アクセスポイント (A P) に関連付けられた複数の W T R U に対する遅延管理機能を比較するステップと、

前記アクセスポイント（ＡＰ）に関連付けられた複数のＷＴＲＵに対する最適のＥＤＴを決定するステップと

をさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項６】

ユニキャスト信号として、前記遅延管理パラメータ設定メッセージを送信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項７】

遅延管理をする方法であって、
無線送受信ユニット（ＷＴＲＵ）の遅延管理機能を報告する遅延管理機能要求メッセージを受信するステップと、
前記遅延管理機能要求メッセージに応答して、エネルギー検出しきい値（ＥＤＴ）を含む遅延管理機能インジケータメッセージを送信するステップと
を備えることを特徴とする方法。

【請求項８】

遅延管理パラメータを設定する値を示す遅延管理パラメータ設定メッセージを受信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項７に記載の方法。

【請求項９】

前記遅延管理パラメータ設定メッセージに応答して、アクセスポイント（ＡＰ）へ、遅延管理パラメータ設定実行確認メッセージを送信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項７に記載の方法。

【請求項１０】

前記遅延管理パラメータ設定メッセージにおいて示された前記遅延管理パラメータを調整するステップをさらに備えることを特徴とする請求項８に記載の方法。

【請求項１１】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記ＷＴＲＵの最大送信電力、前記ＷＴＲＵの最小送信電力および前記ＷＴＲＵのダイナミックレンジのうちの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項７に記載の方法。

【請求項１２】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記ＷＴＲＵに対する最小遅延しきい値（ＤＴ）／エネルギー検出しきい値（ＥＤＴ）および前記ＷＴＲＵに対する最大遅延しきい値（ＤＴ）／エネルギー検出しきい値（ＥＤＴ）のうちの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項１３】

遅延管理のためのアクセスポイント（ＡＰ）であって、
無線送受信ユニット（ＷＴＲＵ）の遅延管理機能を報告する遅延管理機能要求メッセージを送信するように構成された送信機と、
前記遅延管理機能要求メッセージに応答して、エネルギー検出しきい値（ＥＤＴ）を含む遅延管理機能インジケータメッセージを受信するように構成された受信機と
を備えたことを特徴とするＡＰ。

【請求項１４】

前記送信機は、遅延管理パラメータを設定する値を示す遅延管理パラメータ設定メッセージを前記ＷＴＲＵの少なくとも１つに送信するようにさらに構成され、
前記受信機は、前記遅延管理パラメータ設定メッセージに応答して、前記ＡＰへの遅延管理パラメータ設定実行確認メッセージを受信するようにさらに構成されていること
を特徴とする請求項１３に記載のＡＰ。

【請求項１５】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記ＷＴＲＵの最大送信電力、前記ＷＴＲＵの最小送信電力および前記ＷＴＲＵのダイナミックレンジのうちの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項１３に記載のＡＰ。

【請求項１６】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記 W T R U に対する最小遅延しきい値 (D T) / エネルギー検出しきい値 (E D T) および前記 W T R U に対する最大遅延しきい値 (D T) / エネルギー検出しきい値 (E D T) のうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 3 に記載の A P。

【請求項 1 7】

前記 A P に関連付けられた複数の W T R U に対する遅延管理機能を比較して、前記 A P に関連付けられた複数の W T R U に対する最適の E D T を決定するように構成されたプロセッサをさらに備えたことを特徴とする請求項 1 3 に記載の A P。

【請求項 1 8】

前記送信機は、ユニキャスト信号として、前記遅延管理パラメータ設定メッセージを送信するようにさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 3 に記載の A P。

【請求項 1 9】

遅延管理のための無線送受信ユニット (W T R U) であって、

前記無線送受信ユニット (W T R U) の遅延管理機能を報告する遅延管理機能要求メッセージを受信するように構成された受信機と、

前記遅延管理機能要求メッセージに応答して、エネルギー検出しきい値 (E D T) を含む遅延管理機能インジケータメッセージを送信するよう構成された送信機とを備え、

前記遅延管理機能要求メッセージは、エネルギー検出しきい値 (E D T) を含むことを特徴とする無線送受信ユニット (W T R U)。

【請求項 2 0】

前記受信機は、遅延管理パラメータを設定する値を示す遅延管理パラメータ設定メッセージを受信するようにさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 9 に記載の無線送受信ユニット (W T R U)。

【請求項 2 1】

前記遅延管理パラメータ設定メッセージにおいて示された前記遅延管理パラメータを調整するよう構成されたプロセッサをさらに備えたことを特徴とする請求項 2 0 に記載の無線送受信ユニット (W T R U)。

【請求項 2 2】

前記送信機は、前記遅延管理パラメータ設定メッセージに応答して、遅延管理パラメータ設定実行確認メッセージを送信するようさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 9 に記載の無線送受信ユニット (W T R U)。

【請求項 2 3】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記 W T R U の最大送信電力、前記 W T R U の最小送信電力および前記 W T R U のダイナミックレンジのうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 9 に記載の無線送受信ユニット (W T R U)。

【請求項 2 4】

前記遅延管理機能インジケータメッセージによって示された前記遅延管理機能は、前記 W T R U に対する最小遅延しきい値 (D T) / エネルギー検出しきい値 (E D T) および前記 W T R U に対する最大遅延しきい値 (D T) / エネルギー検出しきい値 (E D T) のうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 9 に記載の無線送受信ユニット (W T R U)。